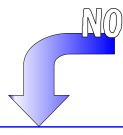
救急体制 マニュアル

ケガ・病気をした

- ・患者の把握
- ・ 患者の状態を複数人で把握判断
- ・応急手当をする
- ※病院受診を迷うときはまず保護者へ連絡を!



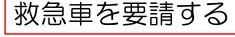
医者が必要か?

YES

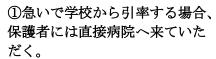




- ・応急手当(養護)
- ・病院への連絡 (級外)
- ・保護者への連絡(担任)
- ・搬送(級外もしくは保護者)



- 1 1 9 番通報 (級外)
- ・応急手当(養護)
- ・保護者への連絡(担任)
- ・該当学級の指導(級外)

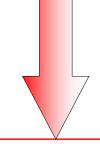


②緊急な場合を除き、保護者に 引率をお願いすることもあり 得る。状況次第では、保護者の不 安軽減のため、学校職員も付き添 う。



救急車を待つ

- · 誘導 (級外)
- •諸準備(担任)



病院に収容

- ・ 医師への説明
- ・保護者への説明
- ・管理職へ報告





救急車に乗せる

- ・収容病院の確認と引率(級外)
- ・保護者への連絡(担任)
- · 引率 (養護)

救急車を要請する場合

- (1) 次の場合は直ちに 救急車 (119番) を呼ぶ
 - ①意識障害 ②心停止 ③呼吸停止
- (2) 意識があっても次のような状態の時は 救急車を呼ぶ
 - ① 呼吸困難・胸が締め付けられるように痛い・胸が苦しい時
 - ② 頭痛→頭を強く打って嘔気・嘔叶がある時
 - ③ 頭痛→今まで経験したことのない強い痛みがある時
 - ④ けいれんをおこしている時
 - ⑤ 腹痛→横になっても<mark>我慢できない</mark>痛みがある時
 - ⑥ 熱中症の疑いで 1 人では歩けないような状態の時
 - ⑦ 大出血がある事故や怪我をしている時
 - 8 広範囲の火傷や熱気を吸い込んだ時 その他、判断に迷う時は 119 番通報を!
 - ※人手が多いほうが良いので近くの人に協力を依頼する

☆電話の例☆

- ① (病気・事故) です。救急車をお願いします。
- ②こちらは、佐志小学校です。
- ③○年生(男子・女子)が、(何)をしていて(どこ)を(状態)どうした。

『事故現場の場所は ○○○ です。校門で ○○ が誘導します。』

※その他の必要な情報については、消防署の方から尋ねてくれるので、その時点で正**確に把握**して**いること のみ答える。**

(3) 救急車を要請したら

・救急車が来るまで救急車の誘導と傷病者の手当てを続ける

(4)注意事項

- <mark>頚椎の外傷</mark>が疑われる時は、動かさずに声だけかけて、救急車の 到着を待つ
- 強くゆすったりしない(肩をたたいて反応をみる)
- 嘔吐があるときは身体を横向きにする